

大学番号：公015

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の専攻に係る課程の変更

認可

茨城県立医療大学大学院 保健医療科学研究科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

茨城県
平成23年5月1日現在

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況，経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項に対する履行状況等	16
7. その他全般的事項	17

<参考資料>

資料1 茨城県立医療大学大学院研究科運営会議設置要綱	21
資料2 茨城県立医療大学大学院研究科運営会議教育研究部会設置要綱	22
資料3 茨城県立医療大学大学院研究科運営会議FD企画運営部会設置要綱	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

茨城県

(2) 大学名

茨城県立医療大学大学院

(3) 大学の位置

〒300-0394

茨城県稲敷郡阿見町阿見4669番地2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(コヤマ アキオ) 小山 哲夫	(クドウ ノリオ) 工藤 典雄	任期満了による交代 平成23年4月1日(23)
研究科長	(モリ コウイチ) 森 浩一		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健医療科学研究科 保健医療科学専攻 (博士後期課程) 博士(保健医療科学)	3年	5人	15人	基礎となる学部等 保健医療学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 () []	5人 () []	5人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.1倍	
志願者数	11 (9) [-]	() () []	5 (4) [-]	() () []	() () []	() () []		
受験者数	11 (9) [-]	() () []	5 (4) [-]	() () []	() () []	() () []		
合格者数	6 (4) [-]	() () []	5 (4) [-]	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	6 (4) [-]	() () []	5 (4) [-]	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.2		1.0					

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	平成22年度	平成23年度	平成23年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 6	[]	[-] 5	[]	[]	[]	
2年次	/		[-] 6	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	
計	[-] 6		[-] 11		[]	[]	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [6]	0%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療科学研究科 保健医療科学専攻 (博士後期課程)>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
保健医療科目	保健医療科学特論	1前	2			21 19	8 10					教員審査による職階変更のため (22)
	保健医療科学方法論	1・2前		1		1	1					教員審査による職階変更のため (22)
	医療政策論	1・2前		1		1						
	専門英語	1・2後	1			4 3	1					教員審査による職階変更のため (23)
保健医療科学連携科目	生活支援学特講	1前		2		5						
	リハビリテーション学特講	1・2前		2		4	2					
	機能回復神経科学特講	1・2前 未開講		2		2	1					履修希望者がいなかったため (22)
	病態解析診断学特講	1・2後		2		3	1					履修希望者がいなかったため (23)
保健医療科学専門科目	看護学特講	1・2前		2		6 4	1 2					教員審査による職階変更並びに 教員採用のため (22)
	看護学特講演習 I	1・2前		1		6 4	1 2					教員審査による職階変更並びに 教員採用のため (22)
	看護学特講演習 II	1・2後		1		5 4	1 2					教員審査による職階変更並びに 教員採用のため (22)
	生活支援学特講演習	1・2後		1		5 4						教員審査による教員採用のため (22)
	理学療法学特講	1・2前		2		5	1					
	理学療法学特講演習	1・2前		1		5	1					
	リハビリテーション学特講演習	1・2後		1		4	2					
	作業療法学特講	1・2前		2		4	1					
	作業療法学特講演習	1・2前		1		4	1					
	機能回復神経科学特講演習	1・2後 未開講		1		2	1					履修希望者がいなかったため (22)
	放射線技術科学特講	1・2前 未開講		2		5 4	1 2					履修希望者がいなかったため (22)
	放射線技術科学特講演習	1・2前 未開講		1		5 4	1 2					履修希望者がいなかったため (22)
	病態解析診断学特講演習	1・2後		1		3	1					教員審査による職階変更のため (22)
	特別研究	1・2・3通	6			26 23	5 7					履修希望者がいなかったため (23)

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上

で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「（1）授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「（3）未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

（2）授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 19	科目 0	科目 22	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

（注）・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は, すべて履修希望者がいなかった科目であり, 学生の履修への影響はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{22} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	64,721㎡	0㎡	0㎡	64,721㎡				
	運動場用地	31,604㎡	0㎡	0㎡	31,604㎡				
	小 計	96,325㎡	0㎡	0㎡	96,325㎡				
	そ の 他	20,184㎡	0㎡	0㎡	20,184㎡				
	合 計	116,509㎡	0㎡	0㎡	116,509㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		29,879㎡ (29,879㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	29,879㎡ (29,879㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		17室	16室	67室	1室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		保健医療科学研究科(博士後期課程)			67 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
	保健医療科学研究科	120,807 [32,758] +17,500[31,000] (120,807 [32,758]) (110,317[30,675])	6,154 [5,261] 4,570[3,730] (6,154 [5,261]) (4,601[3,714])	4,560 [4,560] 3,250[3,250] (4,560 [4,560]) (3,080[3,080])	6,900 (6,883) (6,700)	6,938 6,800 (6,938) (6,687)	385 359 (385) (345)		
	計	120,807 [32,758] +17,500[31,000] (120,807 [32,758]) (110,317[30,675])	6,154 [5,261] 4,570[3,730] (6,154 [5,261]) (4,601[3,714])	4,560 [4,560] 3,250[3,250] (4,560 [4,560]) (3,080[3,080])	6,900 (6,883) (6,700)	6,938 6,800 (6,938) (6,687)	385 359 (385) (345)		
(6) 図 書 館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数				
		2,117.07㎡		249席	130,000冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		1,999.00㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たりの研究費等、共同研究費、図書購入費については大学院・大学全体。図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。設備購入費は後期課程にかかるもの。
		教員1人当たり研究費等	560千円	560千円	図書購入費	67,839千円	67,839千円	67,839千円	
	共同研究費等	37,555千円	37,555千円	設備購入費	11,324千円	1,000千円	1,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,099.8千円	535.8千円	535.8千円	—千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			茨城県費をもって維持管理する。						

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	茨城県立医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
保健医療学部	年	人	年次人	人		倍			
看護学科	4	50	若干名	200	学士 (看護学)	1.02	平成7年度		
理学療法学科	4	40		160	学士 (理学療法学)	1.04	平成7年度		
作業療法学科	4	40		160	学士 (作業療法学)	1.03	平成7年度		
放射線技術学科	4	40		160	学士 (放射線技術科学)	1.03	平成7年度		
保健医療科学研究科 博士前期課程						0.93		茨城県稲敷郡 阿見町阿見 4669番地2	
看護学専攻	2	6		12	修士 (看護学)	0.41	平成13年度		
理学療法学 ・作業療法学専攻	2	6		12	修士 (理学療法学) 修士 (作業療法学)	1.33	平成13年度		
放射線技術科学 専攻	2	3		6	修士 (放射線技術科学)	1.16	平成13年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療科学研究科 保健医療科学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	キノタ ユミコ 木下 由美子	平成22年4月	保健医療科学特論 リハビリテーション学特講 リハビリテーション学特講演習 看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 生活支援学特講 生活支援学特講演習 特別研究	専	教授	ヤマガチ シノブ 山口 忍	平成23年4月	保健医療科学特論 リハビリテーション学特講 リハビリテーション学特講演習 看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 生活支援学特講 生活支援学特講演習 特別研究	平成23年3月 木下由美子教授辞任のため 平成23年度より担当者変更(23) 平成23年2月教員審査済(22)
専	教授	イムラ ユミコ 市村 久美子	平成22年4月	保健医療科学特論 リハビリテーション学特講 リハビリテーション学特講演習 看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 特別研究						
専	教授	カウ ナミ 加納 尚美	平成22年4月	看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 特別研究						
専	教授	マツタ タミコ 松田 たみ子	平成22年4月	保健医療科学特論 看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 特別研究						
専	教授	イノウエ ハジメ 伊東 元	平成22年4月	保健医療科学特論 理学療法学特講 理学療法学特講演習 特別研究						
専	教授	イムラ シゲサキ 居村 茂幸	平成22年4月	保健医療科学特論 理学療法学特講 理学療法学特講演習 生活支援学特講 生活支援学特講演習 特別研究						
専	教授	ヌマノ ケンゾウ 沼田 憲治	平成22年4月	保健医療科学特論 理学療法学特講 理学療法学特講演習 特別研究						
専	教授	オハシ ユカリ 大橋 ゆかり	平成22年4月	保健医療科学特論 理学療法学特講 理学療法学特講演習 特別研究						
専	教授	ミヅカミ マサミ 水上 昌文	平成22年4月	保健医療科学特論 理学療法学特講 理学療法学特講演習 生活支援学特講 生活支援学特講演習 特別研究						

専	教授	ムキ トシキ 村木 敏明	平成22年4月	専門英語 作業療法学特講 作業療法学特講演習 特別研究							
専	教授	サイウ サコ 齋藤 さわ子	平成22年4月	保健医療科学特論 作業療法学特講 作業療法学特講演習 生活支援学特講 生活支援学特講演習 特別研究							
専	教授	シラシ ヒデキ 白石 英樹	平成22年4月	保健医療科学特論 作業療法学特講 作業療法学特講演習 特別研究							
専	教授	イウ カコ 岩井 和子	平成22年4月	保健医療科学特論 作業療法学特講 作業療法学特講演習							
専	教授	ホタ ノブ 窪田 宜夫	平成22年4月	専門英語 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究							
専	教授	アノ イミ 阿武 泉	平成22年4月	専門英語 病態解析診断学特講 病態解析診断学特講 演習 特別研究							
専	教授	モリ コウイチ 森 浩一	平成22年4月	保健医療科学特論 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究							
専	教授	アベ シン 阿部 慎司	平成22年4月	保健医療科学特論 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究							
専	教授	カミラ ヨウイチ 中村 洋一	平成22年4月	放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究							
専	教授	イウ コウイチ 岩井 浩一	平成22年4月	保健医療科学特論 医療政策論 「Int'l リン」学特講 「Int'l リン」学特講演 習 特別研究							
専	教授	カガタ ヒロシ 永田 博司	平成22年4月	保健医療科学特論 機能回復神経科学特 講 機能回復神経科学特 講演習 特別研究							

専	教授	サキ セイジ 佐々木 誠一	平成22年4月	保健医療科学特論 機能回復神経科学特 講 機能回復神経科学特 講 演習 特別研究							
専	教授	ワタノ ヤスシ 和田野 安良	平成22年4月	保健医療科学特論 リハビリテーション学特講 リハビリテーション学特講 演習 特別研究							
専	教授	ヤマグチ ナト 山口 直人	平成22年4月	保健医療科学特論 病態解析診断学特講 病態解析診断学特講 演習 特別研究							
専	教授	ハハ ケン 馬場 健	平成22年4月	保健医療科学特論 病態解析診断学特講 病態解析診断学特講 演習 特別研究							
専	准教授	コム カミ 小室 佳文	平成22年4月	保健医療科学特論 看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ							
専	准教授	マスト ショウタロウ 増本 正太郎	平成22年4月	保健医療科学特論 機能回復神経科学特 講 機能回復神経科学特 講 演習 特別研究							
専	准教授	カミカ ユミコ 上岡 裕美子	平成22年4月	保健医療科学特論 リハビリテーション学特講 リハビリテーション学特講 演習							
専	准教授	トミタ カズヒデ 富田 和秀	平成22年4月	保健医療科学特論 理学療法学特講 理学療法学特講演習 特別研究							
専	准教授	ツボイ アサヒ 坪井 章雄	平成22年4月	保健医療科学特論 リハビリテーション学特講 リハビリテーション学特講 演習 特別研究							
専	准教授	イケダ キミル 池田 恭敏	平成22年4月	保健医療科学特論 作業療法学特講 作業療法学特講演習							
専	准教授	モンマ マサヒコ 門間 正彦	平成22年4月	保健医療科学特論 病態解析診断学特講 病態解析診断学特講 演習 特別研究							

専	准教授	サウ ヒトシ 佐藤 斉	平成22年4月	保健医療科学特論 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究						
専	准教授	フジキ タツ 藤崎 達也	平成22年4月	保健医療科学特論 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究	専	教授	フジキ タツ 藤崎 達也	平成22年4月	保健医療科学特論 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習 特別研究	平成22年2月教員審査済 (21)
専	准教授	サイツ ヨシキ 才津 芳昭	平成22年4月	保健医療科学特論 保健医療科学方法論 看護学特講 看護学特講演習 I 看護学特講演習 II 特別研究	専	教授	サイツ ヨシキ 才津 芳昭	平成22年4月	保健医療科学特論 保健医療科学方法論 看護学特講 看護学特講演習 I 看護学特講演習 II 特別研究	平成22年2月教員審査済 (21)
専	准教授	ハリー ニール デ イット Parry・Neil・ David	平成22年4月	専門英語	専	教授	ハリー ニール デ イット Parry・Neil・ David	平成23年4月	専門英語	平成23年2月教員審査済 (22)
兼任	教授	ツジ テツオ 辻 哲夫	平成22年4月	保健医療科学特論	兼任	教授	タミヤ ナコ 田宮 菜奈子	平成23年4月	保健医療科学特論	平成23年3月 辻哲夫教授職務上の都合により 平成23年度より担当者変更 (23)
兼任	教授	ヤマタ トモ 山田 知子	平成22年4月	保健医療科学特論						
兼任	講師	ヒヨウトウ カスユキ 兵藤 一行	平成22年4月	保健医療科学方法論 専門英語 放射線技術科学特講 放射線技術科学特講 演習						
兼任	教授	タミヤ ナコ 田宮 菜奈子	平成22年4月	保健医療科学方法論						
兼任	教授	タラ コウジ 多田 羅 浩三	平成22年4月	医療政策論						
兼任	教授	オホクニ 一郎 大久保 一郎	平成22年4月	医療政策論						
兼任	教授	コイケ カズコ 小池 和子	平成22年4月	保健医療科学特論 看護学特講 看護学特講演習 I 看護学特講演習 II						

兼任	主任 研究員	ヨシダ ナキ 吉田 直樹	平成22年4月	作業療法学特講 作業療法学特講演習						
兼任	作業 療法科 科長	アサハ エリク 浅羽 エリク	平成22年4月	作業療法学特講 作業療法学特講演習						
兼任	講師	ムライシ ヒロシ 村石 浩	平成22年4月	放射線技術科学特講 放射線技術科学特講演習						
兼任	教授	キカワリ キミコ 北川 公子	平成22年4月	看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 生活支援学特講演習	専	教授	キカワリ キミコ 北川 公子	平成22年4月	看護学特講 看護学特講演習Ⅰ 看護学特講演習Ⅱ 生活支援学特講演習 特別研究	平成22年2月教員審査済(21)
兼任	教授	タカハシ ヒデト 高橋 秀人	平成22年4月	専門英語						
兼任	講師	ハヤシ サトミ 林 さとみ	平成22年4月	専門英語						

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「**認可時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
23	7	30	0	24	7	31	0	科目のみ担当教員5名 (変更なし)
(24)	(7)	(31)	(0)	[1]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	木下 由美子	
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該領域の教授を補充することにより、教育研究に支障が出ないよう配慮した。
学生へは、ガイダンスやシラバス等を通して周知を行った。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (22年12月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)			

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療科学研究科 保健医療科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院運営会議教育研究部会 ・ 大学院運営会議FD企画運営部会・・・平成22年4月1日設置 ・ 大学院教育推進室・・・平成22年4月1日設置 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院運営会議教育研究部会 月1回開催 研究科長が任命した博士後期課程の各領域の教員6名。 ・ 大学院運営会議FD企画運営部会 平成22年度3回開催 研究科長が任命した博士後期課程の各領域の教員5名。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院運営会議教育研究部会 教育課程、授業及び研究指導に関する事項等 ・ 大学院運営会議FD企画運営部会 大学院FD活動の企画、立案、運営、実施、普及、啓発、その他に関すること。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院FD研修会 ・ 新任教員研修会 ・ 大学院授業評価（総合満足度調査） ・ 大学院教育研究の向上に関する教員へのアンケート調査（準備中） ・ 大学院生と研究科長との意見交換会（平成22年度～） ・ TAを対象とした教育者・指導者養成に関する研修討論会（準備中）

b 実施方法

- ・ 大学院FD研修会
平成22年度は2テーマの講演会を行った。
平成23年度のテーマはFD企画運営部会で検討する。
- ・ 新任教員研修会
新しく大学院担当となった教員に対して大学院の教育方針等を説明し、共通理解を図る。
- ・ 大学院授業評価（総合満足度調査）
在学生及び修了生に調査票を送付して回収し、集計結果を教員にフィードバックする。
- ・ 大学院教育研究の向上に関する教員へのアンケート調査（準備中）
- ・ 大学院生と研究科長との意見交換会
大学院生からヒアリング形式で、改善要望等を聴取する。
- ・ TAを対象とした教育者・指導者養成に関する研修討論会（準備中）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 大学院FD研修会
年1回程度開催
最近の開催状況…平成22年10月25日に講演会を行った。（学内教員出席者数86名）
- ・ 新任教員研修会
年1回4月
- ・ 大学院授業評価（総合満足度調査）
年1回、年度末に実施。
- ・ 大学院教育研究の向上に関する教員へのアンケート調査（準備中）
- ・ 大学院生と研究科長との意見交換会
年1回程度開催予定。
最近の開催状況…平成22年10月14日に意見交換会を行った。（学生出席者数6名）
- ・ TAを対象とした教育者・指導者養成に関する研修討論会（準備中）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 大学院FD研修会
平成22年度は2テーマで研修を行った。1題目は「博士後期課程の運営と今後の課題」（森研究科長）として保健医療科学の質的向上・発展に寄与することや、世界的に注目される大学院へ発展させることなどの必要性について講演を行った。2題目は「質的研究の科学性」として学外から講師（立教大学 木下康仁教授）を招き医療系大学院で質的研究に取り組む意義について講演を行った。
これらにより、博士後期課程の進むべき道について職員間の共通理解が図られたとともに、自身の研究や学生への研究指導について、今後の改善が期待できるものとなった。
- ・ 大学院授業評価（総合満足度調査）
集計結果を各教員にフィードバックするための資料を大学院教育推進室で編集中。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

選抜試験では定員5名に対し5名の志願者があり全員が入学している。このことから、本課程のニーズが確かに存在したことがわかる。

昨年度は、入学者のうち臨床現場で働きながら学ぶものが多かったが、本年度は、保健医療系の大学の教員（助手、助教など）が多い。今後、保健医療系大学に勤める教員の資質向上に貢献する教育研究指導をさらに充実させたい。

教員体制は、専任1名が体調不良で退職し1名を専任で補充した。また、副指導教員制度を導入し、複数の教員による研究指導体制を実現している。なお、授業科目については、履修希望のなかった科目が未開講となったのみであり、基本的な教育体制については申請内容に沿って運用を開始している。

社会人就学支援については、6・7時限に多くの科目を配置するなどに対応可能とした。その結果、入学志願者5名中4名が社会人特別選抜となり、働きながら学ぶ意欲のある者のニーズの高さがうかがえる。

TA制度については、昨年度12名（総コマ数：239コマ）を採用し、本年度は、8名（総コマ数：312コマ）の採用を予定している。RA制度については、本学のプロジェクト研究のほかに地域貢献研究を加え、制度を充実させた。

長期履修制度については、オリエンテーションで十分に説明をした結果、平成22年度は6名中2名が希望し、平成23年度は5名中1名が希望している。

こうしたことから、保健医療をリードする先駆的臨床指導者、教育指導力を備えた高度専門職業人、専門分野の研究の確立と学際的学問領域を開拓できる臨床研究者の人材養成という目的へ向けて、着実に進んでいるものとする。

なお、本年度は、6月26日に大学院説明会の開催を予定しており、次年度に向け、入学希望者への個別説明などを実施し、本大学院の特徴の説明や入学者確保への具体的な準備を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成20年3月24日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開
- ・自己点検・評価報告書を刊行し各公立大学へ配布した。

③ 認証評価を受ける計画

- ・認定期間が終了する平成27年3月31日までに再度評価を受けるべく予定。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。